

STI Horizon 2022 夏号発行に当たって

STI Horizon 2022 夏号をお届けします。我が国の経済において、成長と分配の好循環をもたらすためには、科学技術やイノベーションは重要な役割を果たします。このための政府部門と民間部門の関係性も変わりつつあります。

本号では、特別インタビューとして、弊所顧問であり、新しい資本主義実現会議の委員である柳川範之氏に、新しい資本主義経済における科学技術・人材についてお話を伺いました。また、「ナイスステップな研究者」のインタビューとして、兵庫県立大学大学院 情報科学研究科 教授 井上 寛康 氏及び東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授 曾我 昌史 氏にお話を伺いました。

社会や科学技術の新たな「兆し」を報告する「ほらいずん」では、躍進するインドの科学技術政策の概観、未来のモビリティが拓く 2050 年の社会－東海ワークショップ開催報告－、疾病治療の新たな手段としてのデジタルセラピューティクス (DTx) の動向、及び、オープンアクセス型学術誌の進展により顕在化する「Predatory Journal」問題－実態、動向、判断の観点－について報告いたします。

NISTEP の研究成果等を紹介するレポートとして、成長期を迎えた研究費に係る体系的番号について報告いたします。

本誌 STI Horizon の各記事が読者の皆様にお役に立てれば幸いです。また、お近くの方々や、SNS 等 Web メディアへの御紹介もよろしく願いいたします。

STI Horizon 誌編集長 赤池 伸一
(科学技術・学術政策研究所 上席フェロー)